

幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No.8

幕張サン・ハイツ自主防災会 2017.10

大災害発生時、公的な支援物資はすぐに届くとは限りません。コンビニなどのお店にも人が殺到し、商品がすぐ無くなる可能性もあります。電気、水道、ガスといったライフラインは、大災害発生直後は停止し、利用が困難になります。阪神淡路大震災、東日本大震災での、各ライフラインの復旧までの日数は図のようになっています。さらに、内閣府による首都直下地震等による東京の被害想定によれば、各ライフラインの復旧目標日数は、電気で6日、上水道で30日、ガスで55日となっています。

| 電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数 | | |
|------------------------|-----------------------|------------------------|
| | 東日本大震災 (2011/3/11) | 阪神淡路大震災 (1995/1/17) |
| 電気 | 6日 | 2日 |
| 水道 | 24日 | 37日 |
| ガス | 34日 | 61日 |

下記は夫婦2人と、子どもが1人、高齢者が1人いる場合に3日間過ごすために最低限必要な備蓄用品です。災害発生から3日を過ぎると生存率が著しく下がってしまうため、災害発生から3日間は人命救助が最優先になります。道路の復旧や避難所への物資輸送はその後になるので、まずこの3日間を自力で乗り越えられるよう準備しましょう。具体的な品物と数量を挙げていますが、これはあくまでも例であり、それぞれのご家庭に合った備蓄品を用意するようにしてください。

水／●水 45L ●給水タンク 2個

食料品／●アルファ米、レトルトご飯 45食分 ●缶詰(さばの味噌煮、野菜等) 15缶 ●レトルト食品(冷凍食品) 15個 ●缶詰(果物、小豆など) 3缶 ●加熱なしで食べられる食品(かまぼこ、チーズなど) 5個 ●栄養補助食品 15箱 ●野菜ジュース 15本 ●飲料(500ml) 15本 ●菓子類 5パック ●調味料(醤油、塩等) ●カセットコンロ 2台 ●カセットボンベ 8本 ●マルチツール(缶切・ナイフなど) 1個 ●ラップ 1本 ●アルミホイル 1本 ●高密度ポリエチレン袋 1箱 ●ビニール手袋 1箱(約100枚) ●卓上IH調理器 1台 ●ポット 1個 ●簡易トイレ 75回分 ●トイレットペーパー 12ロール ●ティッシュペーパー 1パック(5個入) ●大型ビニール袋・ゴミ袋 適宜 ●除菌ウェットティッシュ 1箱(約100枚) ●消毒類 ●常備薬・市販薬 各1箱 ●救急箱 1箱 ●携帯電話の予備バッテリー ●手回し充電式などのラジオ ●懐中電灯 2個 ●乾電池 50本 ●ライター／マッチ ●使い捨てカイロ 75個

リストを見てみると、用意する品物の数が多いようですが、リスト内で多くの物が、日常的に使用する品物です。これらの品物は、普段から少し多めに買っておき、使ったら買い足すことで常にストックを切らさないようにするローリングストック法で備えましょう。

※次号ではローリングストック法についてご案内いたします。